

# エコアクション21

# 環境経営レポート

(レポートの対象期間:2022年1月~2022年12月)

第4版



サオサス 株式会社

発行日 2023年3月15日

# 《目次》

1.	組織の概要	P-1~2
2.	認証・登録の対象範囲	P-3
3.	環境経営方針	P-4
4.	環境経営目標	P-5
5.	環境経営計画	P-6
6.	環境経営目標の実績	P-7
7.	環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組内容	P-8~10
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反 訴訟などの有無	P-11
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	P-12
Ο.	資料 環境活動への取組内容	P-13~17



### 1. 組織の概要

事業所名 サオサス株式会社

代表者名 代表取締役 和田 茂也

所在地 〒869-1113

熊本県菊池郡菊陽町花立三丁目11番3号

 環境管理責任者
 上島 和樹

 事務局担当者
 酢田 利子

連絡先 TEL 096-339-3511

FAX 096-339-3512

E-mail wada@saosas.jp

事業内容 LED 照明、インターホンシステム、監視カメラ、ボタン電話システム、CATV、

携帯電話基地局、イオナイザー、LAN 構築、光ファイバー、宅配ボックス等

(企画・調査・設計・提案・施工)

許可内容 許可番号 熊本県知事許可(特-2) 第 14802 号

許可の有効期限 令和2年8月11日から令和7年8月10日

建設業の種類 電気工事業、土木工事業、舗装工事業

許可番号 熊本県知事許可(般-31) 第 14802 号

許可の有効期限 平成31年4月12日から令和6年4月11日

建設業の種類 電気通信工事業、消防施設工事業

事業年度 8月~翌年7月末

事業規模 会社設立 平成1年4月27日

社名変更 平成29年8月1日

資本金 2,000万円(令和2年8月 増資)

	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
売上高	万円	115,58	117,13	106,71
従業員数	人	13	12	13
事務所	m²	247	247	247
床面積	111	241	241	241
資機材	m²	89	89	89
置場面積	111	0	0	0

### 技術者(資格・免許)

第1種 電気工事士

第2種 電気工事士

1級 土木施工管理技士

測量士補

玉掛技能者

第2級 CATV 技術者

工事担任者 デジタル1種

工事担任者 アナログ2種

工事担任者 DD3種

職長教育修了(安衛法第60条)

TBM-KY トレーナー

防火管理者

高所作業車(10m 未満)

高所作業車 (無制限)

第3級 陸上特殊無線技士

甲種 火薬類取扱保安責任者

第2種 消防設備点検資格者

防犯設備士

1級 電気工事施工管理技士

建設業経理事務士 3級

監理技術者

甲種第4類 消防設備士

乙種第6類 消防設備士

小型移動式クレーン

第2種 酸素欠乏危険作業主任者 低圧電気取扱業務特別教育修了

# 2. 認証・登録の対象範囲

認証・登録の対象範囲 環境経営レポートの対象期間 環境経営レポートの発行日

サオサス株式会社 全組織 令和4年1月1日から12月31日 令和5年3月15日

### EA21 推進体制



職名	役割			
最高責任者	【代表取締役 和田 茂也】			
	①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者			
	には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。			
	②エコアクション 21 の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人員・			
	設備・費用等を含む)を準備する。			
	③環境経営方針を制定する。			
	④エコアクション 21 の構築・運用に関する情報を収集し、システム			
	全体の見直しを行い、必要な指示を行う。			
環境管理責任者	【上島 和樹 】			
	① 環境経営方針に基づく環境経営目標の設定及び進捗管理			
	②エコアクション 21 に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を			
	図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。			
	③エコアクション 21 の構築と運用を円滑に行い、見直しのために構			
	築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。			
事務局	【酢田 利子】			
	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション 21 に			
	関する実務全般を所管する。			
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・全従業員で構成し、環境経営			
	目標及び環境経営計画への積極的な参加と改善への意見提言をする。			

### 3. 環境経営方針

### [基本理念]

サオサス株式会社では、「安心で快適な空間の創造」を発想の原点とし、時流に棹差し変化し続けることを止めず、明日の暮らしを照らしていくため、限りある資源を有効に活用し、環境負荷の低減を図り環境保全活動に社員一同取り組みます。

### [基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

- 1. 当社の事業(主に電気工事業並びに電気通信工事業)において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
  - ① 本社事務所、車両、建設機械装置の燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - ② 本社事務所、各現場において、産業廃棄物及び一般廃棄物(燃えるごみ)排出量削減に努めます。
  - ③ 節電、節水に努めます。
  - ④ 事務所用品等のグリーン購入の促進に努めます。
  - ⑤ 周辺道路清掃など、環境美化活動を通して環境への配慮に努めます。
  - ⑥ SDGsへの取り組みをおこないます。
    - 6-1 すべての人に健康と福祉を

社内排出のペットボトルキャップを関係機関へ寄付し、ワクチンを届けます。

プルタブを集め、プルネットを通し車いすの寄付に貢献します。

6-2 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

市場に向け LED 普及の提案・施工を行います。

宅配ボックスの普及に貢献し、宅配業者の再配達を削減しCo2削減に繋げます。

6-3 気候変動に具体的な対策を

排出ゴミを減らし再生可能資源をリサイクルします。



- 2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取組策定した経営目標・経営計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
- 3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
- 4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識向上を図ります。

制 定 日 2019年7月22日 最終改定日 2020年6月 9日

> 2023年3月15日 サオサス株式会社 代表取締役 和田 茂也

### 4. 環境経営目標

環境経営方針を踏まえて、下記の5項目について環境経営目標を設定した。 なお、削減目標は2018年度をベースに毎年1%の削減で設定した。

環境目標		<del>}}</del>	2019年度	2023 年度 (1月~12月)	2024 年度	2025 年度
		単位	 基準年度	目標	目標	目標
	二酸化炭素総排出量の削減		25,295	23.387 (4%)	23.153 (5%)	22,921 (6%)
	1-1 電力使用量の削減	kwh	6,947	6.713 (4%)	6.645 (5%)	6,578 (6%)
4	1-2 ガソリン使用量の削減	L	8,077	7.650 (4%)	7.573 (5%)	7,497 (6%)
1	1-3 軽油使用量の削減	L	1,138	953 (4%)	943 (5%)	933 (6%)
	1-4 灯油使用量の削減	L	147	138 (4%)	136 (5%)	134 (6%)
2	一般廃棄物(燃えるごみ)の 削減		実績値なし	実績値 (4%)	実績値 (5%)	実績値 (6%)
	産業廃棄物の削減	t	1.06	1.01	1.00	0.99
3	水の使用量の削減	m3	191	183	181	179
4	グリーン購入の推進	%	52	72	77	82
5	社会貢献活動に関する取組み		1 🗆	1 🗆	1 🗆	1 🗆
6	LED 工事件数	件	15	17	19	21
7	宅配ボックス工事件数	件	_	5	6	7

<sup>※( )</sup>内の数値は、基準年度の実績に対する削減率を示す。

CO2排出量= (1-1) × 0.462+ (1-2) × 0.0671 × 34.6+ (1-3) × 0.0687 × 38.2+ (1-4) × 0.0679 × 36.7

<sup>※</sup>購入電力のCO2排出係数は、九州電力の平成30年度の係数0.462kg/kwhを用いた。

<sup>※</sup>基準年度(2018年)に計測中であった 2019年実績値を追加したため、より精細な 2019年度実績を基準年度として設定した。

# 5. 環境経営計画

	改善取組事項		具体的取組内容	担当部門
	1-1	電力使用量の削減	<ul> <li>・空調温度管理の実施         <ul> <li>(冷房 28℃ 暖房 21℃)</li> </ul> </li> <li>・不要電力の消費を抑制する</li> </ul>	事務所
4			<ul><li>・退社時に、プリンターの電源を切る</li><li>・不要照明の消灯</li></ul>	
1   酸化			・エコ運転の実施	
一酸化炭素総排出量の削減	1-2	1-2 ガソリン使用量の削減	<ul><li>・始動時の長時間アイドリングは止める</li><li>・タイヤの空気圧をこまめに点検する</li></ul>	全体
出量の削			・エコ運転の実施	
減		1-3 軽油使用量の削減	<ul><li>始動時の長時間アイドリングは止める</li></ul>	
	1-3		<ul><li>・タイヤの空気圧をこまめに点検する</li><li>・作業車の不使用時電源オフ</li><li>・作業車の効率的運転の工夫</li></ul>	(現場)
	1-4 灯油使用量の削減		<ul><li>・空調温度管理の実施(暖房 21℃)</li></ul>	事務所
	廃棄 物排	一般廃棄物 (燃えるごみ)の削減	・分別排出を徹底する ・両面印刷、ミスコピーの再利用	事務所
2	出量の制減	産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の適正処理とリサイクルの促 進	工事部(現場)
3	水の使	用量の削減	・節水に努める	事務所
4	グリー	ン購入の推進	・購入対象商品を把握する ・従来品と購入対象商品との価格比較 ・購入品目の選定、促進	事務所
5	社会貢	献活動に関する取組み	・自主的な会社周辺等の清掃活動をする	全体

# 6. 環境経営目標の実績-

	環境目標		2019年度	2022 (1 月~	達成率%	
			基準年度	目標	実績	
二酸化	炭素総排出量の削減	kg -CO2	25,295	23,623	28,054	84.2%
	1-1 電力使用量の削減	kwh	6,947	6,781	6,861	98.8%
1	1-2 ガソリン使用量の削減	L	8,077	7,727	10,255	75.3%
	1-3 軽油使用量の削減	L	1,138	963	239	403.2%
	1-4 灯油使用量の削減	L	147	140	180	77.8%
2	一般廃棄物(燃えるごみ)の削 減	kg	_	196	195	100.5%
	産業廃棄物の削減	t	1.06	1.02	1.48	69%
3	水の使用量の削減	m3	191	185	53	349%
4	グリーン品購入の推進	%	52	67	70	104%
5	社会貢献活動に関する 取組み		1 🛭	1 🗆	1 🗆	100%

<sup>※2022</sup> 年度の目標値は、2019 年度の同 1~12 月の実値の 3%減です。

Co2排出量= (1-1) ×0.462+ (1-2) ×0.0671×34.6+ (1-3) ×0.0687×38.2+ (1-4) ×0.0679×36.7

<sup>※</sup>一般廃棄物については、実績データ計測完了の為、今回より追記

<sup>※</sup>購入電力の CO2 排出係数は、九州電力の平成30年度の係数 0.462 kg/kwh を用いています。

# 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

			評価
具体的取組内容	取組結果	判	是正・見直し等
		定	
	項目ごとにクリアできている項目もあるが		
二酸化炭素総排出量の削減	全体では削減目標値に届かなかったので目標を	×	継続して実施する
	達成できるように引き続き取り組む。		
空調温度管理の実施	社内空調管理基準などを昨年度作成し取り組みを		
空間	続けておこない昨年同様、空調管理をスムーズ	0	
(内房200 暖房210)	におこなうことができた。		
不要電力の消費を抑制する	OA タップを導入し、こまめに電気を切れるようにした。	0	継続して実施する
退社時に、プリンターの電源を切る	複合機を 15 分使用しないと節電モードに設定。	0	
返社时に、ブリブダーの电源を切る	使用者が使用後に節電モードにするよう心掛けた。	0	
不要照明の消灯	昼休時及び不使用時部屋の消灯を実施した。	0	
	不必要なアイドリング、急発進・急加速運転の		
エコドライブの実践 	禁止し啓蒙資料を各車両に配布した。	0	
タイヤ空気圧チェック	点検時、給油時のチェック実施	0	継続して実施する
作業車の不使用時電源オフ	実施した。	0	
作業車の効率的運転の工夫	実施した。	0	
空調温度管理(暖房 21℃)	実施した。	0	継続して実施する
分別排出の徹底	実施した。	0	
コピー用紙の両面使用、ミスコピーの	実施した。	0	継続して実施する
再利用		0	
	産業廃棄物の適正処理に努めた。		
産業廃棄物の適正処理とリサイクルの	社内排出のペットボトルを産廃業者に依頼し		(埋体) ア中族オス
促進	リサイク品として排出した。	0	継続して実施する
	(SDGs 13.気候変動に具体的な対策を)		
	社用車洗車時に、バケツなどを上手く使い節水に努めた。	0	
<b>ないの</b> 国内体内			
別小の向知像性	朝礼等を通じて社員へ節水活動推進を周知した。		
		O	
節水の周知徹底	朝礼等を通じて社員へ節水活動推進を周知した。	0	継続して実施する

事務文具等グリーン購入の推進	可能商品は購入を実施した。	0	継続して実施する
清掃活動の実施	担当者を決め、定期的に会社周辺等の清掃活動を実施し		継続して実施する
<b>清邢</b> 厄勤∪天旭	た。	0	
	JCV のエコキャップ活動に参加し社内排出の		
   エコキャップ活動への取り組み	ペットボトルキャップを回収。合計 1650 個を再生プラ	0	継続して実施する
エコイヤック冶動への取り組み	スチック原料として提出した(昨年 1290 個)	)	
	(SDGs 3.すべての人に健康と福祉を)		
市場への LED 照明機器の普及活動	計 6 施設の共用照明 LED 化を実施。	О	継続して実施する
TP场、WOLCD 架明機器の自及心到	(SDGs 7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに)	)	
市場への宅配ボックス新設の普及活動	計 16 施設の宅配ボックス新設工事を実施。		www.z.cotr-t-z
印場への名館ボックス制設の自及治動	(SDGs 7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに)	0	継続して実施する
	応接室の改修工事を実施。パーテーションから造作壁に変		
応接室の改修工事を実施	更したことによりエアコン使用の効率が上がり、電気量使	0	-
	用の削減に効果があった。		

# 次年度の取組内容(2023年度)

改善取組事項		善取組事項	具体的取組内容	担当部門
			<ul><li>・空調温度管理の実施 (冷房 28℃ 暖房 21℃)</li></ul>	
			・不要電力の消費を抑制する	
	1-1	電力使用量の削減	・退社時に、プリンターの電源を切る	事務所
			・不要照明の消灯	
<u>1</u>			・蛍光灯照明の適時 LED 化	
酸化			・エコ運転の実施本社(営業所)	
1二酸化炭素総排出量の削減	1-2	ガソリン使用量の削減	• 始動時の長時間アイドリングは止める	全体
掛出量の			・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
削減		軽油使用量の削減	・エコ運転の実施	
			• 始動時の長時間アイドリングは止める	工事部
	1-3		・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
			・作業車の不使用時電源オフ	
			・作業車の効率的運転の工夫	
	1-4	灯油使用量の削減	・空調温度管理の実施(暖房 21℃)	事務所
	<b>一</b> 般廃	棄物(燃えるごみ)の削減	・分別排出を徹底する	事務所
2	73.776	WILEDCO / ODDING	・リサイクル物の有効利用	F100171
	産業廃	棄物の削減	・産業廃棄物の適正処理とリサイクルの促進	工事部 (現場)
3	水の使用量の削減		・節水に努める	事務所
4	グリー	ン購入の推進	・エコマーク・グリーンマーク購入対象商品の 購入促進	事務所
5	社会貢	献活動に関する取組み	・自主的な会社周辺等の清掃活動をする	全体
6	LED交	<b>※換の推進</b>	・省エネによる CO2 削減 (目標件数: 17件)	全体
7	宅配ボ	ックス設置の推進	<ul><li>・再配達のロス軽減(CO2削減)</li><li>(目標件数:5件)</li></ul>	全体

# 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果

# 並びに違反、訴訟などの有無

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約書の締結	遵法
757 F 157 F 127 F	マニュフェストの管理・保存	Æ/2
消防法	消防設備の設置及び定期的な点検	遵法
騒音•振動規制法	騒音振動規制基準の遵守	今期間中
無日 · 抓到况前/云	融合派勤税削基準の浸む	該当なし
オフロード法	工事で使用する建設機械	今期間中
	工争し戻用する建設機械	該当なし

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当事務所に適用される環境関連法規とその遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。また、その他関係各機関等からの指導、違反等の指摘や隣接する事業所及び近隣住民の方々からの苦情や訴訟もありませんでした。

# 2・代表者による全体評価・見直し指

### 9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

作成 令和5年3月15日

今回、環境管理責任者を初めて変更しての取組みとなった。

今後も人員のローテーションを通じ、エコアクションの概念を社内に根付かせて行きたい。リングプルの寄付も今回は出来なかったが、収集は継続出来ているので、次回のレポートに掲載出来るようにしたいと思う。

弊社の事業内容からは、LED 照明と宅配ボックスの普及を通じ、社会に環境貢献をしていくという目標を掲げているが、LED照明の普及だけで 26,232kg の CO2 排出量を削減することが出来た。

宅配ボックスでは 71 世帯を賄う数の宅配ボックスを設置することができた。 社会問題にもなっている運送業者の「再配達」、宅配ボックスの普及によって、この「再配達」を少しでも減らし、併せてその再配達時に発生する分の CO2 排出量削減に繋げていきたい。

更なる環境貢献に向けて、引き続き社員一丸となって取り組んでいきたいと思う。

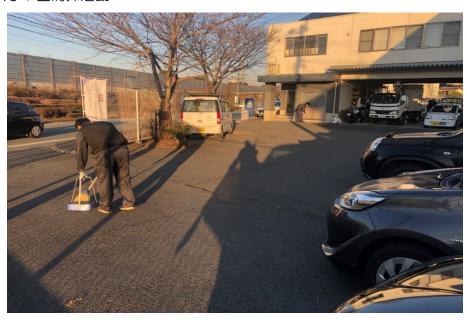
令和5年3月15日 サオサス株式会社 代表取締役 和田 茂也

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
		沙安江	
1	環境経営方針	有・無	
2	環境経営目標	有∙無	
3	環境経営計画	有・無	
4	実施体制	旬・無	1 年ごとに環境管理責任者を交代 し環境に対する知識を高める。
5	その他のシステム要素	有・無	
6	その他(外部への対応)	會・無	SNS、ポスター等で、環境活動 や社会貢献を周知させる。

### 資料

### 環境活動及び安全活動の内容(写真)

① 月1回清掃活動



# ② トイレ LED 交換

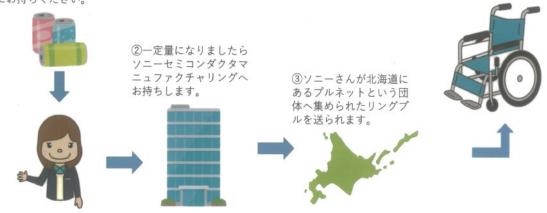


### リングプルについて

# 寄付されたリングプルの仕組み

①皆さんのご家庭にある 缶の飲み物や缶詰につい ているリングブル(プル トップ・プルタブとも呼 びます)を社会福祉協議会 にお持ちください。

④プルネットから車いすに交換され ソニーさんを通じて地域の団体等へ 送られます。(交換にはリングプル 500kg~800kgが必要になります)



### 資料

### 環境活動取組の内容(エコキャップ受領書)

### JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2023年 2月 28日 ID 6012364

### サオサス株式会社 さま

熊本県菊池郡菊陽町花立3丁目11-3

<b>受福日</b>	22	帯付金領	ポリオワクテンで
2022/06/06-2022/10/06	6. 0kg	18円	0.9人分
果計	11.0kg	33円	1.65人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。 ご支援に心より感謝申し上げます。



### 資料

### 環境活動取組の内容(エコキャップ受領書)



# 資料 環境活動取組の内容(LED 照明工事 実施データ) ※リニューアル時にお客様へ提案した経済比較データより抜粋

単位:Kg

実施時期	実施場所	CO2排出星	CO2排出量	CO2排出削減量
3CNE84381	XIII MITT	(蛍光灯時)	(LED)	
2022/01	中央区マンション	160	12	148
2022/02	西区マンション	804	268	536
2022/02	中央区マンション	257	109	148
2022/03	中央区マンション	1,224	420	804
2022/03	南区マンション	536	114	422
2022/05	中央区マンション	348	253	95
2022/05	中央区マンション	321	69	252
2022/06	北区マンション	285	81	204
2022/06	北区建設業倉庫	8,078	1,948	6,130
2022/07	中央区マンション	500	63	437
2022/07	中央区マンション	1,183	348	835
2022/09	中央区マンション	357	112	245
2022/10	西区マンション	5,227	1,796	3,431
2022/10	中央区マンション	832	210	622
2022/11	中央区マンション	71	28	43
2022/12	西区マンション	17,411	5,830	11,581
2022/12	熊本南管察署	915	616	299

総排出削減量 <u>26,232</u>

再配達によって排出される CO2 は年間 42 万トンあり、東京ドーム約 170 杯分に相当 36 億個×0.58 km/個×25%×1 t ×0.8 kg-CO2/t・k m=42 万 t-CO2

実施時期	実施場所	世帯数
2022/9 月	西区マンション	10 戸
2022/9 月	中央区マンション	13 戸
2023/10 月	中央区マンション	17 戸
2023/1 月	中央区マンション	12 戸
2023/1 月	中央区マンション	19 戸

総世帯数 71 世帯



42万t-CO2

X

1億2614万6000(全人口)÷71(導入世帯数)×2.2(全国平均世帯人数) = 47 t-CO2の削減に貢献

※計算式の出典は、国土交通省/総務省統計局/地球温暖化防止推進センター/東京ドームシティ公式HPより